

わが家で
できる!

ごみ減量チェックシート

あなたはいくつ
実践していますか?

ごみ出しルール

- ごみステーションへの持ち出し時間を守っている
- ごみカレンダーやごみ百科事典を活用している

リデュース（ごみを減らす）

- 買い物袋（マイバック）を持参して買い物に行っている
- 生ごみの水分はよく切ってから袋にいれる
- 過剰な包装は断っている
- ばら売りや量売りをしている商品を優先して買う
- 食べ残しがないように適量料理を心がけている
- 家具や電気製品などは大切に使い、故障したときは修理するようにしている
- 使い捨て商品は使っていない

リユース（再利用）

- シャンプーや洗剤などは、詰め替え可能な商品を買う
- リサイクルショップやフリーマーケットを利用している
- 古くなった衣類は雑巾などにして利用している
- 友人知人のネットワークを活用し不用品の交換をしている

リサイクル（再生利用）

- 容器包装プラの分別基準を充分理解している
- ペットボトルはふたとラベルをはずして、ボトルの中を軽く水洗いして出している
- 再生品を選んで購入している
- 子供会などが実施する資源ごみ集団回収を積極的に活用している

ごみ減量度

チェックの数

0～5……無理なくできることから始めましょう。意識をもてば必ずごみは減ります

6～10……すこしずつ始められています。無理なくできることを増やしましょう

11～15……多くのことを実践されています。今後も引き続き実践して、できることを増やしましょう

16以上……ごみ博士の領域です。地域の環境リーダーとして、これからも引き続き実践してください

リスクアセスメント

職場の危機評価への取り組み

労働安全衛生法の改正に伴い、リスクアセスメント及びそれに基づく対策が事業者の努力義務となりました。みどり園でも積極的に職場の作業の安全性の向上につとめるべく、リスクアセスメントに取り組んでいます。

その一端として、みどり園では、ステーションにごみを持ち出される住民及び、収集作業に従事する職員の安全性向上のために、自主的な安全研修を実施しています。「安全作業は日々の努力の積み重ね」をキャッチフレーズに、5月～6月に実施しました研修状況を紹介します。



みどり園プラヤード構内に仮設のステーションをつくり、収集担当職員がインストラクター（指導員）となって、安全チェックを入れる。



助手の誘導、合図をする。



適正な停車位置を確認する。
収集作業を開始する。